



# 問 多古高校存続に向けて 町との連携は

答 今後も連携の支援をして参ります。



◀厳しい状況を打開するには

町長 町の総合計画の策定、町民ワークショップなどに役員若手職員と参加して頂いています。今年度も17名の生徒が参加し、実現したい町の将来像についての議論や発表をして頂きました。役場内に独自のコミュニケーションスクールジュニアとして、多古高校OB、OGを中心の組織を立ち上げました。存続が危

問 年齢の若い役員職員の方と生徒の交流の場を作って頂きたい。

町長 昨年度から東京駅でのPRキャンペーンや、式典への参加などに協力いただいています。今年度はコロナ禍の中、道の駅の敷地内で野菜の販売や花の販売を開催、多古高校の特色を生かした学校と地域が結びつく場となったのではないかと考えています。

魅力ある多古高校へ

問 町の宝であり魅力の一つである多古高校、入学生徒数が減少している厳しい状況です。生徒が町の中で輝き魅力ある存在となれば、必ず学校の魅力につながります。イベントへの参加や公共施設での就労体験などへの連携について伺います。

町長 昨年度から東京駅でのPRキャンペーンや、式典への参加などに協力いただいています。今年度はコロナ禍の中、道の駅の敷地内で野菜の販売や花の販売を開催、多古高校の特色を生かした学校と地域が結びつく場となったのではないかと考えています。

公共交通の対応は

問 コロナ禍での町の公共交通の対応について伺います。

町長 現在、空港シャトルバス、循環バスについては減便せずに継続運行しておりますが、4月から8月までの利用者は空港シャトルバス、循環バス共に減少しています。デマンドタクシーについては6月に行った愛と真心の訪問事業の中で買い物や通院などの移動支援として新規登録奨励と無料回数券を配布した効果により利用者数が増加している状況です。

高齢者への対応は

問 高齢者の健康維持のため、いきいき元氣塾が中止されておりますが、塾生への町の対応について伺います。

保健康社課長 在宅型事業に切り替え、各自の運動機能の状況に応じた個別プログラムの作成をし、自宅で取り組んで頂いております。併せて事業委託先のスタッフの方から定期的な励ましの電話支援を行っており、9月以降も継続の予定です。いきいき元氣塾での夢あかり体操は4月から町ホームページで動画配信がされています。

今後のコロナ対応方針は

問 経験のない新型コロナウイルス感染症拡大の中、各自自治体に対応に戸惑い苦慮しながらコロナ対策事業を実施することになりました。全国的にも本町は専決処分です。スピードある支援を開始し、町長のリーダーシップの重要性を再認識すると共に、町民への思いやりと気遣いを感じる事業内容でして。今後も続くコロナ禍への対応のお考えは。

町長 2月3日に連絡会議を設置、3月16日に対策本部へ移行してからの会議の中では、まず第一に感染を拡大させない事と感染リスクのある中で町民の皆様が不安にならないような最大の努力を職員が心がけるようにと指示してきました。引き続き緊張感をもって感染拡大を防ぐこと、経済とバランスをとりながらの生活となりますが、今後も町民の皆様の欲していること、困っていること、私たちにできることは何かを常に考え、支援してまいります。



コロナによって中止されているいきいき元氣塾

## 一般質問に4議員が登場

4議員の録画中継は各ページQRコードからアクセス!

# 町政のココ!が聞きたい



町政全般に関する疑問や町の考えについて問うものです。町のさまざまな仕事について説明を求め、町政をチェックするだけでなく、政策の提案をするほか、是正を促します。

### 菅澤 環 議員 …… 13

- 魅力ある多古高校へ
- 公共交通の対応は
- 高齢者への対応は
- 今後のコロナ対応方針は

### 菅澤 博隆 議員 …… 15

- 必要な開発は町が主導すべき

### 行橋 千春 議員 …… 14

- 移住・定住促進に向けて
- 農家に優しい町へ

### 石渡 悦子 議員 …… 16

- 国保のコロナ対応は

## 議会を傍聴しませんか

### 傍聴手続き方法

受付票に記入、受付箱に提出してください

傍聴席へお入りの際は傍聴規則を確認の上、傍聴札を携帯してください。



※新型コロナウイルス感染症防止のため、ご遠慮いただく場合があります。







## 移住・定住促進へ向けて 対応策は

町の魅力積極的にPRし、更なる移住・定住の促進に努めていきます。



町のさらなる発展に向けて

### 移住・定住促進に向けて

**問** 町の移住・定住の促進について、また本年6月に誕生した移住コーディネーターの活動状況について伺います。

**答** 町では、移住・定住促進のPRとして、高速バスへのフルラッピング広告、電車内や駅構内へのPRポスターの掲出等を実施しました。都心からのほど良い距離感と県内トップクラスの子育て施策をPRした広告は見ただけに大きなインパクトを与えました。また、移住コーディネーターの活動として、8月30日に「多古町移住・Uターンフェア」を開催しました。移住コーディネーターの取り組みについては、テレビや新聞にも取り上げられ、大きな話題となりました。

**問** 今後、多古町へ移住したいという方々への対応ですが、町としてはどのような対応策を考えているのですか。

**答** こつこつという企画は一度では成果が出るものではないと思います。回を重ねて多古町に住みたいという方々を、また多古町に定住して子育てをしていきたいという方々が増えていくように今後も取り組んで頂きたいと思っております。

### 農家に優しい町へ

**問** 農作業事故は農家の方々自身が一番気を付けることですが、JA、メーカーなどと情報を共有して啓発活動はできないのでしょうか。

**答** 産業経済課長 農作業の安全は、農業に従事している方々の命に関わる大変重要なことです。JAや農業委員会、農業共済など関係機関に働きかけて、効果的な普及啓発を連携して進めてまいります。



農作業事故0の町へ

**問** 今年度から新規就農者向けの支援事業に農水省が新たに設けた要件について伺います。

**答** 町長 農業次世代人材投資事業の採択要件については、前年の世帯全体所得が600万円以下であることが追加され、令和2年度の新規申請者から適用されます。

**問** 新しい要件の追加で、申請を諦めてしまう新規就農者が出てしまうのではないのでしょうか。切実な事情がある場合はどう考えますか。

**答** 合は例外措置もあるとのことですが、それは町が判断出来るのでしょうか。また、町独自の支援策はどう考えますか。

**問** 最初の移住・定住の促進と同時に、多古町に住み都内に通う、テレワークで仕事をする、そして週末農業をするというパターンもできるのではないですか。



## 残土の埋立ては周辺住民の同意が必要なのは

町の発展を考えると現在の条例がベストです。



昨年現地視察を実施

### 必要な開発は町が主導すべき

**問** 出沼地区の林地開発の埋立てがストップしていません。経過について説明してください。

**答** 生活環境課長 事業開始後に現場事務所を設置や土質調査の実施、事業区域の明示等、再三指導しましたが実施に至らなかった経緯があります。実際に土砂運搬車両の追跡調査や土砂発生元の調査、監視カメラによる土砂運搬調査等を行い、条例違反の事実を確認し、事業停止命令を発しました。並びに町道の原状回復措置命令も発しました。さらに無届の土砂搬入違反の証拠が固まったことから、特定事業許可の取り消しを前提とした事業の停止を指導しました。

**問** 当該町道は業者が修復したのですか。

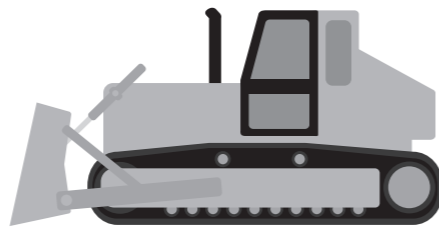
**答** 生活環境課長 その通りです。当該地区とその地区外との境は明確です。

**問** 生活環境課長 再三指導してまいりましたが明確化されていない状況です。

### 多古町政を問う

令和2年9月定例会

報を提供できるような体制を整えてまいります。



**問** 出沼地区の皆さんから工事差し止めの要望書が出されています。町としてどうされますか。

**答** 生活環境課長 6月8日に許可取り消しを求める趣旨の署名が出されました。町は条例の趣旨に則り、地域の皆様の生活環境が確保できるような形で進めてまいります。

**問** 当該地区に青道がありません。地区排水についてはどうされますか。

**答** 生活環境課長 排水機能を持たせるための施工、さらに貯水的機能を持たせるための施工を指導してまいります。

**問** 南玉造地域で500㎡以下の条例適用外の埋立て

が進められています。現地での500㎡の境界は、はっきりしていません。

**問** 場所を特定できていないということはどこを埋めているか分からない状態ですが、当該埋立てはいつ終了しますか。

**答** 生活環境課長 500㎡を超える一体的な埋立てではないかと考え、条例違反の疑いがあるという事で現地調査や事業停止を求める指導を行っています。調査中という事で詳細は控えます。

**問** 3月議会で条例に付帯して規則の制定が約束されていますが、進捗状況をお示しください。

**答** 生活環境課長 規則の改正等はまだまだしていません。必要な改正については、再度確認を進めてまいります。

